

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	生保内節全国大会実行委員会負担金								
担 当 課 係 名	市民会館		課		係	作成者	小林正広		
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱		明日を担う人材育成を育む教育文化のまち				総合計画の ページ		
	基本計画		芸術文化活動の振興と文化財の保護						
	主要施策		芸術文化団体の振興				100		
予 算 費 目	一般		会計	10 款	教育費	5 項	社会教育費	10 目	市民会館費
事 業 期 間	平成				年度	～	平成	年度	新規 / 継続の区分
性 質 区 分	☐ 市民サービス		☐ 公共事業		☐ 施設維持管理		☒ 補助金	☐ 内部管理	
根 拠 法 令 等									
事 務 区 分	☒ 自治事務		☐ 法定受託事務						
運 営 方 法	☐ 直 営		☐ 直営（一部民間委託）		☐ 民間委託(全部)		☒ 補 助		

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	全国の民謡を愛する人
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	民謡の宝庫といわれている仙北地方で生まれた「生保内節」を、民謡好きの人たちを集い、正しく継承しながら広く普及させるとともに、地域の発展を目指す。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	大会の運営業務を実施する。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	申込者数	人	211	221
		出場者数	人	181	172
	成果指標				
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		3,123	3,259	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	3,123	3,259	
	人件費 (B)	—	2,356	2,421	
		職員数	—	0.3	0.3
		職員平均人件費	—	7,853	8,071
	(A) + (B) 投下コスト	—	5,479	5,680	
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)	—	25,967	25,701
			—	30,271	33,023
		市民1人当たりのコスト(円)	—	172	181

【事務事業の今までの成果】

今年で23回目を数える当大会は、平成11年度(第14回大会)の申込者299人を最高に、ここ数年200人前後を推移している。県外の出場者は約2割を占めており、もう少しPRする必要があると思われる。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続(実施)	民謡発祥の地、生保内節を全国の民謡好きの人たちと継承しながら、大会運営に努めたい。
	B	見直しの上で継続(実施)	
	C	大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D	休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

県内に全国大会が12団体ある中で、内閣総理大臣杯のあるのは当大会だけである。今年は、A B S秋田放送の協力で大会2日目をテレビ公開収録を行う予定であるが、集客の少なさ、開催期間等など改善すべき課題はあるが、実際変えとなると難しい面もある。今回のテレビ公開収録によって、どのぐらいの宣伝効果があるのか期待をしたい。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	生保内節の伝統芸能の継承及び地域の活性化に寄与する事業として引き続き事業の推進が必要と考える。

一次評価診断図

